

「剛志学府」だより

回 覧

第22号 R.6.12.24



境剛志小学校評議委員と

境西中学校運営協議会委員による合同会議を開催しました！

令和6年度第3回境西中学校学校運営協議会を11月22日(金)に、境西中学校図書室において開催しました。今回は「剛志学府」境西中学校区連携協議会として、境剛志小学校評議委員と境西中学校運営協議会委員が合同で会議を行いました。出席者はまず校内見学をし、生徒の学習活動の様子をご覧いただきながら協議にうつりました。始めに、小・中学校の取組と課題について、各校長先生からご説明をいただきました。次に剛志学府の取組と課題について、町田公民館館長様からご説明をいただきました。それぞれ説明いただいた取組や課題をもとに、2班に分かれて班別協議を行いました。

1、各学校の取組と課題について

(1) 境西中学校 学校運営の現状や取組・課題について

(梅堀校長)

基本目標 「笑顔あふれ 活力ある生徒 の育成」	基本目標を目指し、生徒・教職員は”自律（自分のことは自分です）・判断力（自分で考える）・共生（友達と協力する、共に楽しむ、思いやる）”を、日々の学校生活や行事を通し、意識して取り組んでいます。 (2学期の活動例) ・修学旅行 ・チャレンジウィーク ・文化祭・合唱コンクール ・弁当の日 ・PUSH講習（救急救命） ・性教育講演会 ・予告なし避難訓練 ☆何事も、自分で体験して感じる事を大切にしています。活動を通して、個人の力を伸ばすとともに、自律・共生、そして西中としての集団の力を伸ばしていこうと、毎月テーマを変え、定期的に朝礼等で校長から話しています。
境西中の強みと課題 ◎強み △課題	◎生徒達は素直で明るく礼儀正しいです。 ◎授業参観からも分かるように、落ち着いた生活、学習態度です。 ◎保護者の方、地域の方とも学校への関心が高く、協力的です。 ◎小規模校なので、何かを決める時、共通理解しやすく、決めたことをすぐ行動できるので、他校と比べて負担が少ないです。 △生徒達は言われたことはできますが、自主的になかなかできないので、自律を意識させています。 △小・中の9年間の人間関係は強固ですが、固定しがちで新しい関係ができる経験が低いので、共生、コミュニケーション力を意識させています。

(2) 境剛志小学校 学校運営の現状や取組・課題について

(三木校長)

基本目標 「楽しい、 おもしろい、 うれしい気持ち のあふれる 学校づくり」	児童が自律する力、なりたい自分を目指す心を育て、他者と比べるのではなく、自分の成長を実感させ、人間関係形成力を育てることを中心に、教育活動に取り組んでいます。 (2学期の活動例) ・市の陸上競技会（5.6年生） ・運動会 ・各学年の校外学習 ・マラソン大会 ・修学旅行 ☆教職員が児童を指導するときは、子供を肯定的、共感的に受け止め、成長を共に喜びながら、支援しています。「～は禁止」、「だめ」ではなく、「こうするととってもいいね。」、「こうした方がみんなのためにいいね。」という言葉かけを心がけています。
剛志小の強みと課題 ◎強み △課題	◎児童は概ね落ち着いた学校生活を送っています。 ◎教職員が情報を共有して、何か問題があった時は、改善のための指導を粘り強く続けています。 △個々に見ると、学習面、生活面に課題を抱えている児童がいます。学校だけでなく、色々な機関と連携しながら、支援していこうと思います。

校内見学・授業参観より

2年生 特別支援学校との交流会で遊ぶおもちゃを製作中

委員の方の質問に、気持ちよい返事ができました。



授業中も笑顔があふれています。



校舎内に生徒の写真があつて、生き生きとした様子が分かりますね。

2、剛志学府（学府連携協議会）の取組と課題について

（町田館長）

公民館主催 子供向け講座等の活動報告

- ・夏休み子供ポスター作成教室
- ・夏休み子供花結び教室
（ともに、境西中美術部有志がボランティアアシスタントとして、参加してくれました。）
- ・夏休み人形劇を楽しもう
- ・剛志地区住民交流会
（放送係として、剛志小1名、境西中3名に協力してもらいました）
- ・剛志地区米寿・喜寿祝賀行事
（剛志小5、6年生が、対象のお年寄りにメッセージカードを作ってくれました）
- ・小・中学校ジャージ、制服リサイクル活動

ボランティア参加をした美術部の生徒達に、ボランティア賞をいただきました。達成感が高まり、生徒達はとても喜んでいました。ありがとうございました！！



3、班別協議

班別協議では、委員皆様のお立場から見た、剛志地区の子供達の良い所や課題点、また学校に対する要望などの意見を出し合っていました。



A 班

- ・小学1年生は安全に学校から学童へ帰って来ているか不安があります。地域の見守りの方と協力していきたいです。
- ・小・中学生が地域に行く活動はありますか？
- 中3生は、3月に御嶽山クリーン作戦があります。また、すみれ保育園で保育実習交流をしています。しかし、中学生は部活動もあり、なかなか地域に出られないようです。
- ・地区によっては、身近に子どもがいません。現状の子どもの少なさに懸念を感じますが、少ないことでの強みもあると思います。
- ・生徒数の少ない学校を活発にするため、昨年度は異学年交流を行いました。
- ・6年生は33名です。人間関係ができあがっています。教師側がおかしいと思っても、子供達はおかしいと思わない状況が生まれる時もあります。外部と交流して初めてカルチャーショックを実感するでしょう。
- ・中1ギャップがないのは、良いことかそうでないかわかりませんが、これを超える事で成長がありません。みな仲間になってしまうので、公私の違いを学ぶ機会が少ないので、高校入試などの、面接官とのやりとりが心配です。
- ・月1回発行される学校便りは、地域住民が学校や子供達の事を知ることができます。学校と地域が関わりを作っていくためにも、大切なことです。



B 班

- ・今の時代は防犯上の観点から、子供達は知らない大人には、慎重になるように言われています。そのため、声をかけても挨拶ができない状況なのかもしれません。子供達には、一人の時に判断し、対応できる力をつけてほしいです。
- ・交通指導してくださる方に、あいさつができるといいです。
- ・公民館にトイレを借りに来る小学生は、大人よりも礼儀がしっかりしていて、感心することがあります。
- ・子供達が自転車と並走している姿を見かけます。高齢者との事故が心配です。
- ・高校進学等で他の地区に出て行ったら、そこで生きていくために、自分で意識して他者にアプローチしていく必要があります。授業参観で声がけしたら、気持ち良い返事があり、社会性が育っていると感じました。
- ・小さい学校は、部活が少ない等のマイナス面があります。高校へ進学した時、大人数の中に入るとどうなるのか、心配です。
- ・剛志地区には、子供達が安心して集まれる場所（児童館など）がないので、そういう場所があるといいです。
- ・剛志地区は、家庭や地域がしっかりしており、大人が子供達を大切にしていると感じます。
- ・少人数の良さの例として、6年生は、お互いを良く分かっている、困っている子がいると、声をかけ合い、子供同士で解決できます。しかし、中学校入学が良いきっかけとなって、関係性が再構築できるとさらに良いと思います。

☆剛志地区の子供達は少人数の良さの中、しっかりと家庭や地域の中で、大切に守られています。しかし、これから大きな社会に出ていく時のために、社会性コミュニケーション力を身につけさせなければならないことが課題であると両班の協議から見えてきました。

4、その他 諸連絡

- ・第4回定例会（境西中学校区連携協議会）
令和7年1月31日（水） 14:00～ 境西中学校 会議室
中学校運営協議会委員の皆様には、この日に校内書き初め大会（1、2年生）の審査をお願いいたします。



